



いきいき井栗っ子

三条市立井栗小学校

学校便り

教育目標 やさしく かしこく すこやかな子

令和4年7月22日発行

<https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/iguri/>

1学期間、ありがとうございました!

新型コロナウイルスにより影響が心配される中でスタートした1学期でした。ここまで大きな怪我や事故もなく、マラソン大会や修学旅行、自然体験、若藤フェス、学級での生活を含め、無事終えることができました。子どもたちが元気に終業式を迎えることができたのも、保護者の皆様、地域の皆様のおかげと思っています。ご支援・ご協力をありがとうございました。

明日から夏休みが始まります。子どもたちには、次の2つを話しました。
○夏休みにしかできないこと（学習、読書、研究、工作、遊び）で自分を成長させてほしいこと。

※ゲームのレベルが上がった、たくさん動画を見た、などは少し違います。

○お手伝いをする事。

特にお手伝いは、日頃から子どもにさせたいことです。次のような話があります。



50年ほど前、都立教育研究所が大々的な学力調査をしました。とても変わった調査でした。中学生を対象に、知能指数が同じ子を調べたのです。知能指数が同じなのに、「オール5」（ぐらい）の子と「オール1」（ぐらい）の子を、東京都中から選んで調査しました。知能指数が同じなら、素質は同じとすることができます。

しかし、一方でオール5の子がいて、一方でオール1の子がいます。調べてみると原因は様々でした。「これは、こうだ!」とはっきり断言できませんでした。しかし、注目すべきことが二つ見つかったそうです。

一つは、オール5の子は、家庭で手伝いをしている、ということです。オール1の子は、ほとんどしていませんでした。

もう一つは、オール5の子はテレビを見る時間が家庭内で決まっていて、大体1日1時間半。オール1の子は約束がなく、長くテレビを見ているのでした。大体3時間以上、時には4時間、5時間見る子もいます。

テレビは、今ならゲームや動画に置き換えられると思います。

家庭でお手伝いをする子は、掃除を真面目にやります。用事を頼むと喜んでやってくれます。すぐに身体が動きます。小さい頃の子どもは、お手伝いを喜んでやります。お手伝いを通して、「自分は頼られている、人の役に立っている。」という自己有用感を育みます。そして、身体を動かしながら人に喜ばれる体験をたくさん積み上げていきます。

しかし、小さい子のお手伝いは、実は大人にとって「ありがたくない」場合も良くあります。お願いしたとおりにできない、時間がかかる上にうまくできないことがあるからです。でも、貴重な教育の場です。ぜひ、夏休みは家族の一員として役割を与えながら、子どもたちを褒めて励ましてください。

では、充実した夏休み、安心安全な夏休みをお過ごしください!



いじめ見逃しゼロスクール運動(6月)

新潟県では、「いじめ見逃しゼロスクール運動」を6月と10月に取り組んでいます。2学期には四つ葉学園で、6年生が中学生といじめをテーマに話し合いを行う予定です。

6月は全校集会で、「天国言葉」「地獄言葉」について井栗小学校が取り組んでいる挨拶運動から次のような話をしました。

挨拶は漢字には、それぞれ意味があります。
「挨(あい)」という漢字には「自分の心を積極的に開いて近づく」という意味、
「拶(さつ)」という漢字には「心を開いた状態で人の心に迫る」という意味があるそうです。
ですから挨拶をすることによって、心と心が近づき、仲良くなっていきます。
そんな挨拶の良さを知っている井栗っ子の20年後を見てみます。
みなさんは、井栗小学校でいいあいさつをして、しっかり勉強して、立派なラーメン屋さんになりました。しかも、とても繁盛しています。毎日、たくさんのお客さんがあなたの店にやってきます。
校長先生も、いってみることにしました。店に入ると、
「いらっしやい！」
元気な挨拶が跳んできます。席に着き、メニューが決まって、
「すいませーん。」
と店員さん呼ぶと、
「はい、今行きます！」
はっきりとした返事をして、注文を受け取って行きました。
出てきたラーメンは美味しかったです。店を出て行こうとすると、
「ありがとうございました！」
とこれまた元気な挨拶でした。そして、さっきまで座っていた席を見ると、さっと、後始末されていて、次に待っているお客さんと呼ぼうとしていました。
これは、店がはやるわけだと思いました。ラーメンのおいしさだけでなく、お店の人の態度もすばらしかったからです。
さて、もちろん、みなさん全員がラーメン屋さんになるわけではありません。でも、このお店の人の態度、したこと、井栗っ子のみなさんが普段、心掛けていることではありませんか？
さきほどの、「おはようございます」「ありがとうございます」は聞いていて、心がうれしくなります。いい気持ちになります。そんな言葉を「天国言葉」と言います。他にも「いいね」「楽しい」「うれしい」など、たくさんあります。(一緒に読みました)
そして、「天国」があれば・・・？(「地獄?」というつぶやきがありました。)
どんな言葉を使うかを人間は、脳で考えます。最近の脳の研究で分かってきたことがあります。それは、脳は自分が言った言葉が、誰に言ったか分からなくなるときがあるそうです。地獄言葉を人に言っているつもりが、自分を攻撃することもあると言うことです。
でも、天国言葉がたくさんある学校ではどうなるでしょう。笑顔がたくさんある楽しい学校になりますよね。私は、井栗小学校が天国言葉いっぱい学校になってほしいと願っています。

そして、自分の好きな「天国言葉」を募集しました。すると、1週間もしないうちに400もの天国言葉カードが集まりました。そして、普段の会話の中でも、「地獄言葉は言わない方がいいよ。」
「それ、天国言葉だね、いいね。」
と登場するようになりました。言葉の使い方について、考えるよい機会となったようでした。

※職員室前の掲示板に掲示しました。入りきれずに、窓側にも展示しました。

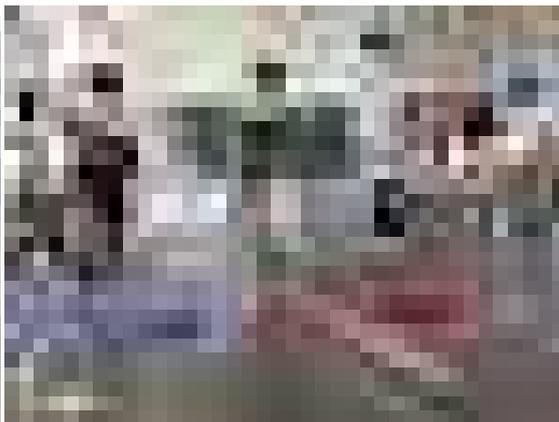
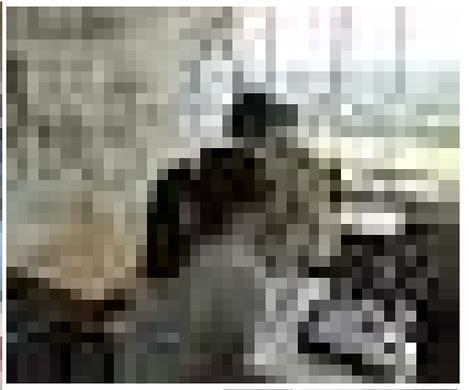
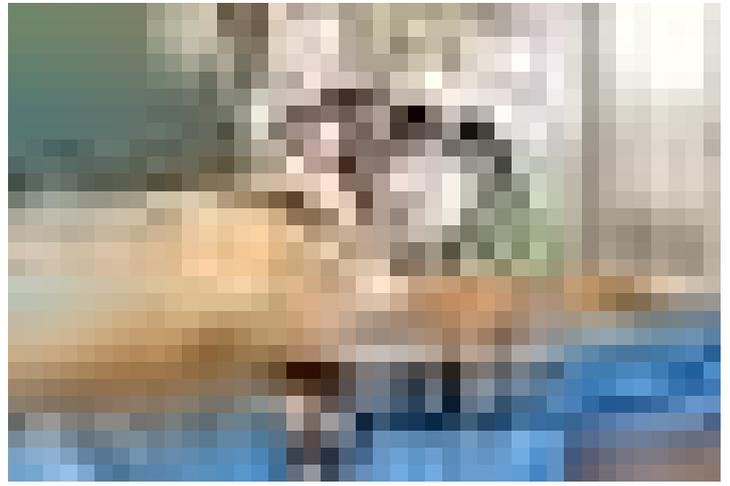
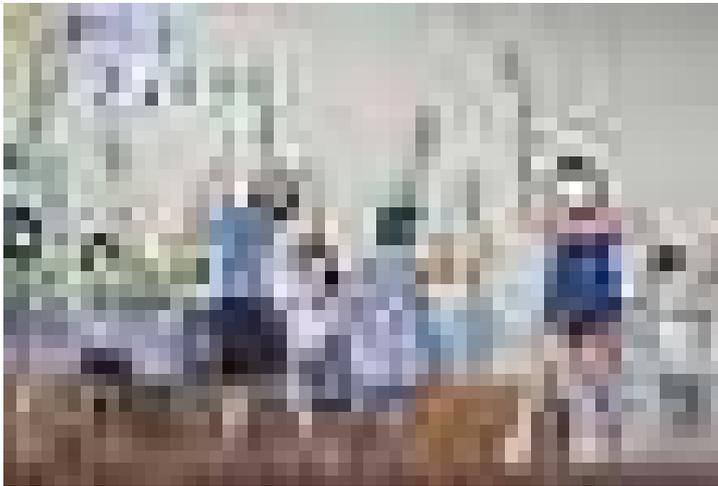


若藤フェスタ！

児童会行事、「若藤フェスタ」が7月1日に開催されました。
運営委員会が中心となって計画を立てました。委員会が作成した「若藤フェスタだより」には、次の4つのねらいが明記されていました。

- ・学級の子どもたちが主体的に話し合い、計画・準備・実践して学級の団結力を高める。
- ・全校で一つの行事をつくりあげ、同学年や異学年との関わりをもつことにより、全校での絆を深める。
- ・お店（ショップ）の計画や諸問題を解決する話し合いを通して、話し合いの仕方を学ぶ。
- ・委員会ごとに若藤フェスタを企画・運営し、より児童運転を進める。

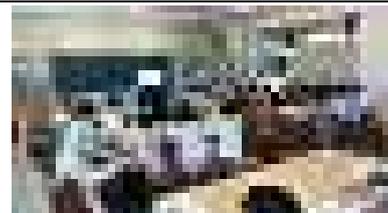
グランドデザインに記されている「児童運転」という言葉が、子どもたちの中にしっかりとあるということがすばらしいと感じました。ねらいにあるように、子どもたちは、考え、工夫し、取り組んでいきました。閉会式で「楽しかった人？」と尋ねると、井栗っ子の手がピン！と挙げた姿が印象的でした。



衛生習慣化教室！

1年生が、衛生習慣化教室に参加しました。これは、手に付いているばい菌を落とすために、手の洗い方を学ぶ学習です。

手に特殊なクリームをつけ、手を洗います。その後、ブラックライトに手をかざしてみます。すると、洗い残しのあるところが光り、よく洗っていないところを可視化することができます。子どもたちは自分の手が光ると、驚いていました。コロナもあります、普段から手の洗い方に気を配り、衛生的な環境を自分でつくってほしいと願っています。



ブリッジスクール・三小交流会

6年生は、7月8日に四つ葉学園の3つの小学校が集まる三小交流会に参加しました。今回は、ブリッジスクールです。中学校への進学をスムーズにするために毎年行われているものです。

中学生の授業を参観させてもらったり、部活動を見学させてもらったりしました。



歯磨き教室

1年生と4年生が歯磨き教室を行いました。

歯磨きの大切さを学び、自分の歯の磨き方について点検をしました。

テスターを使って歯垢が付いたところを赤く染め出し、自分の目で様子を確認しました。歯磨きも「くせ」があるようで、やったつもりでも歯垢が落ちていない様子がよく分かりました。鏡を見ながら、丁寧にブラッシングを進めていきました。



PTAクリーン作戦

9日に、延期になっていた「PTA クリーン作戦」を行いました。多くの方から参加いただきました。ありがとうございました。

ビオトープの泥上げ、グラウンドや広場の草取りなど、学校環境を整えていただきました。草取りは「ピッタリ1kgに挑戦」というアトラクションを企画していただき、景品が出ることもあるせいか？子どもたちは熱心に草を集めて挑戦していました。



8・9月の行事予定

- 26日(金) 始業式
- 1日(木) 挨拶運動(～7日)
- 6日(火) 若藤GT
- 7日(水) 避難訓練



- 9日(金) 授業参観日 夏休み作品展
2年生 PTA 学年行事
- 15日(木) 6年生三小合同陸上記録会
- 20日(火) 井栗っ子集会
- 27日(火) 全校集会
- 30日(金) 全校5限

